

日頃より、東京都小学校外国語教育研究会の活動にご理解、ご協力を賜り、ありがとうございます。また、本会が事務局を担っております「第17回全国小学校英語教育実践研究会 東京大会」につきましては、ご多用の中、多大なるご支援を賜り、心より感謝申し上げます。

さて、ご存じのとおり、新型コロナウイルスの感染拡大は留まるところを知らず、世界的にも感染が蔓延している状況です。国内においても、東京を筆頭に、各地で感染の拡大が報じられております。また、一定の感染拡大の収束をみるには、年単位の期間が必要となる可能性もあるとの見解もあります。

以上のような現状を鑑み、第17回全国小学校英語教育実践研究会 東京大会実行委員会は、全小英研本部とも協議の上、誠に苦渋の決断ではありますが、以下のとおり、東京大会の開催を1年延期することといたしました。

○あらたな開催日（延期日）：令和4（2022）年 1月28日（金）・29日（土）

※1日目と2日目の日程は、大きく変わらない予定です。実施内容（会場等）も、原則変わりません。ただし、発表校及び講師については、変更となる場合があります。

延期の判断に至りました主な理由は、以下のとおりです。

1. 児童や教職員、講師、参加者等の安全を最優先に考えた場合、新型コロナウイルスの感染拡大や冬季の再流行など、治療薬やワクチンがない現状で開催による感染リスクを避けるためには、予定どおりの開催は見送るべきであること。

2. 新型コロナウイルスの影響により、講師の先生方の授業等のスケジュールが大幅に変更になるなどして、予定どおりのご指導が受けられなくなる可能性があること。

3. 直前の感染拡大等の状況により大会が中止となり、東京都の代表として年間を通して研究を進めてきていただいた発表校が、全国に向けた重要な発表の場を失うことがないようにすること。

4. 現時点で延期を決定すれば、1年延期の開催が可能であること。このことについては、次年度開催地である高知県の大会実行委員会、次々年度開催地である熊本市の大会実行委員会、並びに各県教育委員会、発表校、所管市町村教育委員会等、皆様の多大なるご理解とご尽力により、延期が可能となったことを申し添えます。

5. 延期される日まで1年8か月あり、ワクチンは難しいものの、治療薬の流通は期待でき、感染自体もある程度の収束が予想されること。

6. 直前に中止となると、延期することが不可能となる上、取り消しに伴うメイン会場等への高額のカンセル料の支払いが不能に陥ること。

東京大会の実施の可否については、東京大会実行委員会でも3月から協議を重ね、関係諸団体、業者等との折衝もしながら、今回の判断に至ったものです。どうか、ご理解とご協力をどうぞよろしくお願い申し上げます。

本来ならば直接お伺いし、ご相談をさせていただくところですが、新型コロナウイルスの感染予防の観点から、本状にてご連絡を差し上げます失礼をお許しください。

東京大会実行委員会といたしましても、大変残念ではありますが、1年延期された開催日に向けて、全力で準備を進めていく所存でございますので、引き続き、どうぞよろしくお願い申し上げます。

第17回 全国小学校英語教育実践研究会 東京大会 実行委員長 吉村 達之